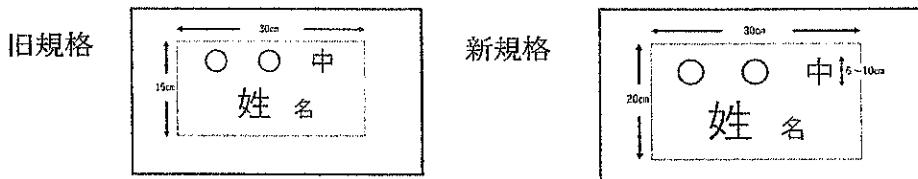


令和3年度京築地区中学校バドミントン大会要項

- 1 大会名 第37回 京築地区中学校バドミントン大会
- 2 主 催 京築地区中学校体育連盟
京築地区各市町（学校組合）教育委員会
共 催 福岡県教育委員会
- 3 期 日 令和3年7月17日（予備日18日）
開 場 午前8時30分 監督会議 午前8時45分
開始式 午前9時00分 試合開始 午前9時30分
- 4 会 場 行橋市立泉中学校
- 5 参加制限 個人戦は郡・市大会2位までとする。団体戦については、オープン参加とする。
- 6 競技方法 団体戦はリーグ方式、個人戦はトーナメント法で行う。
- 7 競技規則 (1) 本年度日本バドミントン協会競技規則、並び本大会運営規則に準じて行う。
(2) 試合球は、日本バドミントン協会検定合格シャトル（水鳥球）を使用する。
(3) チーム編成は、5名より8名とし、引率・監督は当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチは当該中学校の教職員とする。ただし、教職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承諾を受けた者とする。
(4) 試合（団体戦）は、複(2)・単(1)の対抗戦とし、複・単・複の順で行う。また、同一選手が単・複を兼ねて出場することはできない。
(5) 団体戦終了後、個人戦を行う。また、同一選手が単・複を兼ねて出場することはできない。
(6) ユニホームは、日本バドミントン協会審査合格品とする。
(7) ゼッケンは背部に付ける。原則として1・2年生は新規格、3年生は旧規格とする。（下図参照）
(8) 原則として、主審は教育職員、線審は生徒（各学校2名）により行う。
(9) ベンチ内は監督・コーチ・選手のみとする。
(10) アピールについては競技中の選手のみとする。
(11) 団体戦のオーダーは、2部作成して、試合前に提出すること。



- 8 表 彰 団体戦は上位2位、個人戦は単・複2位入賞者までとする。
賞状数（大4枚、小32+12=44枚）

- 9 申し込み 出場申込：令和3年7月2日（金）泉中

I 1 組み合わせ

「団体戦の部」リーグ方式

男子、女子ともに参加チームによる総当たりのリーグ方式とする。

「個人戦の部」トーナメント法 ※専門部独自の案による

男子、女子ともに参加選手によるトーナメント法とする。

I 2 県大会出場

団体、個人ダブルス、個人シングルスは1, 2位が県大会に参加する義務を負う。

I 3 その他

(1) AED は体育館に設置

(2) J アラート警報時は、試合を一時中断し、屋内において安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。

令和3年度県立地区中学校（バドミントン）大会感染防止ガイドライン

- 受付
 - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
 - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後2週間保管すること
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合せたり、速やかに帰宅させたりすること
 - 体調がよくない場合（発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること
(運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする)
 - 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
 - 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること
(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
 - 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
 - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
 - 飲食
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
 - 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること
(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
 - 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
 - 保護者の管理（適時アナウンスや掲示物でお知らせすること）
 - 保護者の入場は原則3年生の保護者のみとし、各校で準備した「〇〇中保護者」のIDカードを身につけた者に限ること
※ただし、1、2年生のみで構成されたチームや3年生の保護者の参加が困難である等、緊急時の対応がとれないことが予測される場合、1チーム10名以下で保護者の参加を認める
 - 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
 - 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
 - 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること

- 大会会場
 - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒すること
- 競技前
 - ネットやポストなど設備の消毒を行い、各種用品の消毒を行う。
 - タオルやドリンクは個人のものを用意し、各種用品の消毒を行う。
 - 換気を行い、換気を行うタイミングを決定し、確認する。
- 競技中
 - 練習時には過密にならないか常に注意する。
 - マスクはコート内練習以外ではなるべく着用する。
 - ネットやポストなど設備には触れない。
 - コートに入っていない時、人との間隔（フィジカルディスタンス）を維持する。
(ラケット2本で約1.3m、3本で約2m)
 - シャトルの受け渡しの際に手を極力使わない。
 - シャトルに顔を近づけない。
 - 他人のタオルやドリンクなどには触らない。
 - 換気を定期的に行う。
- 競技後
 - ネットやポストなどの設備の消毒を行い、最少人数で片づける。
 - 飲み残しの処理は適切場所で行う。（自宅に持ち帰る等）
 - 帰宅中のマスク着用を徹底する。